

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課		
		実施期間	S45頃～	E-mail	shinko @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

人口減少が著しい中山間地域等における地域活力の維持・確保を図るため、地域を担う人材の確保・育成、多様な主体による地域活動の活性化、地域の拠点・基盤づくりに対する支援等に取り組んできたが、住民の主体的な地域づくりを持続可能なものにするためには、直接的な支援にとどまらず、それぞれの支援策が有機的に機能し、地域づくりのプロセスに一貫して寄り添う支援が求められている。また、地域に今ある資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用し、複合的に価値を生み出す取組を推進する必要がある。

2 事業目的

地域住民が、自らの地域の価値を新たな観点で捉え直し、地域内外の多様な主体と交流・連携しながら、主体的に地域づくりに取り組み、自治の力を発揮しながら持続可能な暮らしを営めるよう、支援する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域づくり活動に寄り添う人材育成及び地域づくりへの支援
- ・地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材を育成する講座（まちむら寄り添いファシリテーター養成講座）の中で、講座修了生や受講生が地域課題解決をモデル的に実践し、その過程を情報発信することにより、活動の普及促進を図る
 - HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信
 - 修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施
 - 修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催
 - ・特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施
- ②地域おこし協力隊 受入・活躍支援
- ・協力隊員の資質向上のため、協力隊員の活動ステージやテーマに応じた研修の回数を増やし開催
 - ・担当者の資質向上のため、市町村担当職員向けにミスマッチ防止のための制度設計研修を開催
 - ・10地域振興局毎、協力隊サポートネットワーク会議を開催し、中間支援組織が会議をサポート
 - ・令和4年度に実施した伴走支援モデル事業や、新たに伴走支援を受ける市町村の成果の横展開を中間支援組織と共に実施
 - ・市町村協力隊員の合同募集説明会を開催し、参加する市町村に対しては事前に募集設計勉強会を実施
- ③輝く農山村地域の創造に取り組む市町村支援
- ・輝く農山村地域を創造するため、地域ぐるみの意欲的な活動で成果を挙げている地域を厳選し最先端エリアを目指す市町村を支援
 - 地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	まちむら寄り添いファシリテーター養成講座修了生のうち活動した者の割合	%	48.0	48.0	→	49.0	↗	54.0	未達成	修了生へのフォローアップの拡充を行うことで活動割合を高め、毎年度同程度の伸び率を見込む。	
②	市町村地域おこし協力隊ステップアップ研修の満足度	%	94.4	94.3	↘	95.2	↗	90.0	達成	過去2年の平均の満足度を維持することを目標とする。	
③	輝く農山村事業の取組に提案をした市町村数	市町村	—	—	—	9	—	5	達成	総合5か年計画期間中に5団体が輝く農山村地域の創造に取り組むことを目標とする。 ※令和5年度は、提案のあった市町村に対し調査を行い、うち飯綱町・根羽村の2町村と輝く農山村地域創造に取り組むことに決定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の数	人	2021 (R3)	428	2022 (R4)	421	2023 (R5)	461	2027 (R9)	580
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の定着率	%	2021 (R3)	78.3	2022 (R4)	81.8	2023 (R5)	77.6	2027 (R9)	85.0
3-1③	地域活力の維持・発展	地域運営組織数	団体	2021 (R3)	242	2022 (R4)	254	2023 (R5)	255	2027 (R9)	289
3-1③	地域活力の維持・発展	特定地域づくり事業協同組合がある市町村数	市町村	2021 (R3)	2	2022 (R4)	2	2023 (R5)	2	2027 (R9)	12

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	25,003	0	25,003	22,498	16,958	7.0
R4年度	0	15,853	4,000	19,853	14,103	17,441	6.3
R3年度	2,896,223	15,225	4,002	2,915,450	18,607	2,838,080	6.0

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

7 主な取組実績と成果

<p>①地域づくり活動に寄り添う人材育成及び地域づくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に寄り添い、住民の相互理解を深める対話の場づくりを行うことができる人材である「まちむら寄り添いファシリテーター」について、新規養成から学び直しにシフトした連続講座を開催し、再受講生7人、新規受講生8人が修了した。 ・地域づくり実践者の役割や活動の意味を発信するためのオンラインコンテンツである「信州まちむらラジオ」をYouTubeで31件配信した。 ・8市町村を対象に、高齢者等対象世帯の家屋の屋根等の除排雪、住居から生活道路までの除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施した。また、補助時間等の拡充を図った。 <p>②地域おこし協力隊 受入・活躍支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力隊員の資質向上のため、隊員の活動ステージに応じて、1年目の隊員向けの初任者研修を2回、定着・起業に向けて活動している隊員向けのスキルアップ研修を3回開催した。研修参加者のアンケートでは、「学びとなった」「今後の活動イメージをつかむことができた」など好評を得ることができた。 ・10地域振興局毎に運営する協力隊のサポートネットワークにおいて、協力隊員の受入体制の質の向上を図るため、全地域振興局で意見交換会を実施（9回※共催あり）し、さらに地域振興局企画の交流会を実施（8回※共催・複数回開催あり）した。そして、これらの開催にあたり、中間支援組織が企画サポートを行った。 ・市町村の受入体制設計に対する取組意欲の醸成及び中間支援組織による支援体制の自走化を図るため、中間支援組織と共に4市町村に対し伴走支援を実施し、伴走支援に係る成果報告会を開催した。また、募集案件の質の向上のため、市町村協力隊員の合同募集説明会を開催し、参加する市町村に対しては事前に募集設計勉強会を実施した。 <p>③輝く農山村地域の創造に取り組む市町村支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市町村に対し意向調査をしたところ、9市町村から実施意向が示され、外部有識者を交えた現地調査等を実施した。 ・実施意向が示された9市町村について、①地域資源の現状、②発展性・可能性、③主体性・意欲、④共創性の観点から取組状況の評価を行い、飯綱町・根羽村と共に輝く農山村地域創造に向けて取り組むことを決定した。 ・飯綱町・根羽村への伴走支援のため、地域づくり支援組織による先進市町村との比較・分析を実施した。また、プロジェクトの趣旨説明用の動画等を作成し、取組の波及に向けて着実に事業を推進した。
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	まちむら寄り添いファシリテーター養成講座修了生のうち活動した者の割合	R4年度推移	→	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなり、活動がしやすい状況となった一方で、他の活動の多忙化により対話の場づくりに割くことができる時間が減少したことや、修了生の活動プロセスの共有が不十分であったこと等から、全体として微増での推移にとどまり、目標値には至らなかった。</p>							
指標②	市町村地域おこし協力隊ステップアップ研修の満足度	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>年に1回の開催であったものを、R5年度は3回開催し、かつ内容も隊員のステージやテーマに応じたより具体的で実践的な内容としたことが、研修の満足度向上に貢献したと考えられる。</p>							
指標③	輝く農山村事業の取組に提案をした市町村数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	達成
<p>R5年度から新たにスタートした事業であったが、全市町村に対し時間にとらわれず趣旨を理解してもらえるように、説明資料及び説明動画を作成したこと等が、市町村の取組提案数の増に貢献したと考えられる。</p>							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域における対話の場づくり促進事業については、修了生のファシリテーターとしての活動プロセスの分析と共有・発信を進めることで、活動のフォローアップを行い、修了生の活動継続と促進を図る必要がある。 ・人口減少、高齢者世帯の増加により、自力で屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。近年の経済状況等に注視し、必要があれば制度の見直しを行っていく必要がある。 ・地域おこし協力隊の定着率が昨年度より下がったため、引続き隊員の定着に向けた研修の充実や、市町村受入れ体制を支援していく必要がある。 ・持続可能な地域づくりに向けて、地域に今ある資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用し、複合的に価値を生み出す取組を引き続き県内に展開していく必要がある。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・地域における対話の場づくり促進事業については、修了生交流会等を開催するとともに、修了生のファシリテーターとしての活動プロセスの分析と共有・発信を進め、引き続き活動のフォローアップを図っていく。 ・引き続き、特別豪雪地帯住宅除雪支援事業の実施を通じて大雪時における人的被害、住家被害の防止を図る。 ・地域おこし協力隊向け研修は活動分野に特化した内容とし、観光振興・空き家対策・森林分野で他部局と協力し、テーマ別の研修会を開催。より実践的な内容とし、隊員の定着を図る。 ・作成したプロジェクトの趣旨説明用の動画等を活用し、新たに取り組む市町村の追加募集を進めていく。

事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	地域における対話の場づくり促進事業	2,452 千円	3,500 千円	3,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	対話の場づくり人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	・まちむら寄り添いファシリテーター養成講座修了生の学び直しを図るため、地域づくりに関する課題の解決策を考える実践講座を実施 ・活動の普及と理解者を増やすため、地域づくり実践者の活動プロセスや事例等を「信州まちむらラジオ」としてYouTubeで配信 ・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施 修了生15名（再受講生7名、新規受講生8名）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業	9,573 千円	4,325 千円	3,310 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	・特別豪雪地帯における高齢者等の暮らしを支えるため、特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施 ・補助時間等の拡充 8市町村に対して補助を実施、延べ派遣回数5,619回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	地域づくり活動推進事業	1,948 千円	1,981 千円	1,981 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域づくりネットワーク長野県協議会負担金	負担金	地域づくりネットワーク長野県協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 地域づくりの自主的・主体的な活動のすそ野を広げるため、地域づくり団体への情報提供、地域づくり団体相互の交流の促進等を実施 県内地域づくり団体等を対象としたフォーラムの開催1回（やまびこフォーラム）	
2	（一財）地域活性化センター運営負担金	負担金	（一財）地域活性化センターに対し、負担金を支出 【団体概要】 活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし、地域社会活性化の諸活動への支援等、地域振興の推進に寄与する各種事業を実施 「地域づくり」発刊（毎月）、地方創生実践塾の開催（13回）、地方創生セミナーの開催（19回）	
3	（一社）全国過疎地域連盟負担金	負担金	（一社）全国過疎地域連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国の過疎地域が連携して過疎対策事業の充実強化を図るため、過疎対策に係る調査・研究や政府予算・施策への要望活動、自治体間の情報交換等を実施 国等への要望活動の実施（6回）	
4	全国山村振興連盟負担金	負担金	全国山村振興連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国における山村地域振興のため、関係者相互の緊密な連携・提携を図り、山村振興政策に係る政府予算・施策への要望活動や実務者研修会等を開催 国等への要望活動の実施（4回）	
5	全国積雪寒冷地帯振興協議会負担金	負担金	全国積雪寒冷地帯振興協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 積雪寒冷地帯の道府県、市町村が緊密に連携し、大規模豪雪災害や関係基本法制度見直しに対する要望活動、会員相互及び関係機関との情報交換等を実施 国等への要望活動の実施（1回）	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	地域おこし協力隊 受入・活躍支援事業		4,211 千円	7,635 千円	3,740 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域おこし協力隊研修	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊員の資質向上のため、初任者研修・スキルアップ研修を開催 ・担当者の資質向上のため、市町村担当職員研修を開催 初任者研修2回、スキルアップ研修3回、市町村担当職員研修1回を開催		
2	地域おこし協力隊サポートネットワーク	直接 委託	10地域振興局毎に運営する協力隊のサポートネットワークにおいて、協力隊員の受入体制の質の向上を図るため、サポートネットワーク会議を開催。中間支援組織が企画サポートを行った 意見交換会及び地域振興局企画の交流会等を全地域振興局で開催		
3	地域おこし協力隊受入伴走支援	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の受入体制設計に対する取組意欲の醸成及び中間支援組織による支援体制の自走化を図るため、令和4年度に実施した伴走支援モデル事業や、新たに伴走支援を受ける市町村の状況・成果の横展開を中間支援組織と共に実施 ・募集案件の質の向上のため、市町村協力隊員の合同募集説明会を開催し、参加する市町村に対しては事前に募集設計勉強会を実施 合同募集説明会2回、募集設計勉強会1回、4市町村で伴走支援を実施し、伴走支援に係る成果報告会1回を開催		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	輝く農山村地域創造推進事業費		- 千円	- 千円	4,427 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域づくり支援組織による調査、伴走支援等	委託	地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援を実施 2町村で伴走支援を実施、プロジェクトの趣旨説明用動画等の作成		